

【緑地の樹】

## クズ（葛）

日本各地の山野や道ばたに生える大型のつる性多年草。茎の基部は木質となり、根は太くて大きい。葉は marui3 商用の複葉である。

利用は緑化、飼料、デンプン、繊維、観賞用（万葉のころは生垣にも多く使われたようです）など。

花は美しい秋の七草に数えられ大切な有用植物でした。花は長い総状花序、紅紫色の蝶形花で、パイナップルに似た甘い香りでクマバチやマルハナバチのごちそうです。ウラギンシジミの幼虫の食草でもあります。根は漢方薬やくず粉

プロフィール: マメ科 クズ属のつる性多年草  
緑地では多くの樹を覆っています。



として重宝されています。

時代とともに、今では手のつけられない暴れん坊として、北米大陸にも進出中です。

（蔵部）